

熊本市開催<火の国ラウンド>



H25.1.12(Sat)

松屋本館

3学期に入り、お忙しい時期にもかかわらず、九州各県はもとより、広島県や愛媛県からも参加いただき、**49名**の会員が集まり開催することができました。“火の国の熱い会”に、多くの方々がお集まりいただき心から感謝いたします。

1 トピックス「体育科教育の今、そして、これから」

～幼・小・中・高・特別支援・大学の体育授業改善に向けて～



○今回は、愛媛大学 日野克博 準教授から、「体育科教育の今、そして、これから」と題して、プレゼンテーションしていただきました。新学習指導要領に基づいたそれぞれの校種における体育科教育の在り方、来年度、実施される次の学習指導要領改訂へ向けた国の取組「学力調査」について、体育でもどのような形で行われるのか。また、現在の学制「6・3・3・4制」の見直しに係る体育科教育の行方、等々、本当に貴重な話題を提供していただきました。特に印象的だったのは、「チーム保健体育」の考え方でした。幼・小・中・高・特別支援学校・大学の垣根を超えた体育科教育の研究の必要性をお話いただき、この九州ネットワークの取組こそ、まさに

その最先端の組織であると、改めて本ネットワークの「凄さ」を感じることができました。日野先生には、愛媛から遠路はるばるおこしいたごき、心から感謝です。

2 研究・実践発表・提案及びPR

○まず、高森町立高森東中学校の木村先生から「効果的で安全な柔道の授業の取組」と題して実践報告をしていただきました。柔道の基本動作、受け身、固め技、投げ技などの技能を効果的に安全に身に付けさせる指導法について、ビデオを使い丁寧に発表いただき、併せて、学習カードの例を示され「思考・判断」についての見とり方を提案していただきました。



次に、菊池市立菊池北小学校の佐藤先生から、菊池郡市小体研の取組と独自で行われた研究の結果を発表していただきました。その中で、「球技」における子どもたちの3観点別の成果から、「技能」については、6時間目あたりから身に付くことを実証され、現在、6時間ぐらいで行われている小学校の「球技」の時間数を増やす必要性等を提案されました。両実践とも、柱となっていたのは「学習内容」であり、「学習内容」にこだわったすばらしい発表で、私たちに多くの示唆を与えていただいたと思います。

3 質疑応答・意見交換・体育に関するあれこれ



○実践報告をもとに、グループ協議のあと、質疑応答・意見交換を行いました。どのグループも、校種・県の垣根を超え熱心に協議していただきました。「柔道では前回受け身までいかず、投げ技が体落としままでであれば、横受け身まででいいのではないか。」「佐藤先生の取組（体育が苦手な教師に広める）は、これからの小学校でますます必要だ。」といった意見や、「この会を続けることこそ大切である。」「学生さんと協議する中で、意欲が出てきた。」といった感想等が出されました。

次回予告！鹿屋ラウンド(最終)

2月16日(土) 10:30~16:45

多くの方の参加をお待ちしております